



# 議会だより

第45号 平成28年8月1日発行

# みやこ



**清流の郷 帆柱キャンプ場まつり**  
7月9日にみやこ町犀川帆柱で開催されました。

## もくじ

- 「6月定例議会 結果を報告」 ..... 2~4P
- 「議会の活動報告」 ..... 5~7P
- 11名の議員が町政を問う!
- 「一般質問」 ..... 8~18P
- 黒田小学校の児童が議会を傍聴☆
- 「傍聴感想文」 ..... 19P
- 町内の頑張っている団体を紹介!
- 「がんばっちょる」 ..... 20P





平成28年第3回みやこ町議会定例会を6月8日から6月21日までの14日間にわたり開催しました。町長から16件の議案、議員から1件の議案が提出されましたので、その議決結果について報告します。

## 平成28年第3回定例議会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥高里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町税条例等の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (平成28年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計補正予算(第1号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	承認
みやこ町教育委員会委員の任命について (日塚 正利 氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	同意
京都郡公平委員会委員の選任について (野口 時晴 氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (上村 隆法 氏を推薦)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	適任
訴えの提起について(犀川中学校用地：760番地)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
訴えの提起について(犀川中学校用地：767番地)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
みやこ町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
みやこ町障害支援区分等認定審査会の委員の定数等を定める条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について(国作寺ヶ坪1号線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について(国作寺ヶ坪2号線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について(国作寺ヶ坪3号線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	可決
平成28年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	可決
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度 2分の1復元をはかるための2017年度政府予算に係る意見書(案) について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席。



# 議案に対する討論



平成28年度みやこ町一般会計  
補正予算(第1号)

## 賛成

●観光協会補助金が計上されている。この補助金に関して担当課、執行部は、随時、実態の把握をしていただいて、観光協会の発展、そして、みやこ町の発展に資するようお願いして賛成討論とする。

●地方創生加速化交付金を使って観光協会補助金として活用されることは、まちづくりの大きな柱として地域の発展のため必要である。

みやこ観光まちづくり協会においては飲食店等のガイド冊子あるいはスイーツ店、観光地を掲載した冊子等を作成されて、みやこ町を大いにPRしていただいている。

一億総活躍社会の中で、地域に元気になっていただく。また、まちづくりのために

充てるべき貴重な交付金を無駄にせず、近い将来に期待して賛成討論とする。



# 委員会審査報告

総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の内容や審査概要を報告します。

## 総務常任委員会(6月14日)

### 災害見舞金に300万円補正

先の熊本地震で被災した市町村に見舞金を届けるためのものである。

Q 熊本地震に対しての見舞金か。前回の東日本大震災の見舞金と関連はあるのか。

A 昨年までは、東日本大震災の関係で寄附金を出していたが、今回は熊本地震のみである。

### まちづくり推進事業費に180万円補正

町内数カ所で開催するタウンミーティングの経費である。

タウンミーティングの内容については、まちづくり活動支援事業委託業務としてファシリテーター及び講師

師派遣、打ち合わせ、プログラム作成等を行うためのものである。

※ファシリテーターとは会議など複数の人が集う場において、議事進行を務める人のこと。

中立な立場を守り、参加者の心の動きや状況を見ながら、プログラムを進行する。

## 産業建設常任委員会

(6月13日)

### 町道路線の認定について

国作地区の定住促進住宅地を分譲することに伴い、新たに3路線を開設計定するものである。

(路線名称) 国作寺ヶ坪1号線、

国作寺ヶ坪2号線、

国作寺ヶ坪3号線

### 観光協会補助金に3350万円補正

国の補助事業である地方創生加速化交付金の観光振興事業の補正である。

①観光振興の人材育成や既存観光協会の一般社団法人化。

②各種市場調査として、農家レストラン運営市場調査や観光農園・地域食材提供拠点施設の調査。



③グリーン・ツーリズム事業として、農家レストラン及び森林公園、観光農園などを運営する一般社団法人の設立。

④特産品の6次産業化へ向けた商品開発。



### 文教厚生常任委員会 (6月15日)

#### 訴えの提起について

昭和23年8月30日、犀城中学校(現犀川中学校)竣工以来、運動場の一部として占有している土地について、みやこ町名義になっていないため、時効取得を原因として土地所有権移転登記手続きを請求するものである。

**Q** 対象者の特定は、どのように行うのか。

**A** 対象者については、顧問弁護士と相談し、所有者を確認している。

#### 発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業に

##### 230万円補正

平成26年度から2年間、国のインクルーシブ教育システム構築モデル地域事業を受け、特別支援教育の充実を図っている。

現在、犀川小学校と黒田小学校に通級指導教室を設置し、他の学校、諫山久保、豊津、祓郷小学校へは、巡回に

よる通級指導を行っている。  
平成28年度は国の発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業を受け、さらに通級指導の充実を図るものである。

※インクルーシブ教育とは障害の有無によらず、誰もが地域の学校で学べる教育のこと。

※通級指導とは通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室のこと。

#### 国民健康保険事業

##### 電算システム改修事業

##### 162万円補正

国の補助事業である国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金を活用した事業である。

平成30年4月から、県を中心とした新しい国民健康保険制度が始まる。こ

の制度を実施するため、60市町村の国の電算データを県に集約する必要がある。そのための改修である。

**Q** 具体的にはみやこ町としての窓口業務等は、今後どうかかわるのか。

**A** まだ、はっきりとしたことが決定していない。ある程度、決定次第、全員協議会等で、議会に説明したい。

#### 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2017年度政府予算に係る意見書を国に送付

子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠である。このような観点から2017年度政府予算編成において、子どもたちの教育環境改善のために計画的な教職員定数改善を推進すること及び教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを要請するものである。

**Q** 地方創生加速化交付金事業は多岐にわたると思うが、その担当課は。

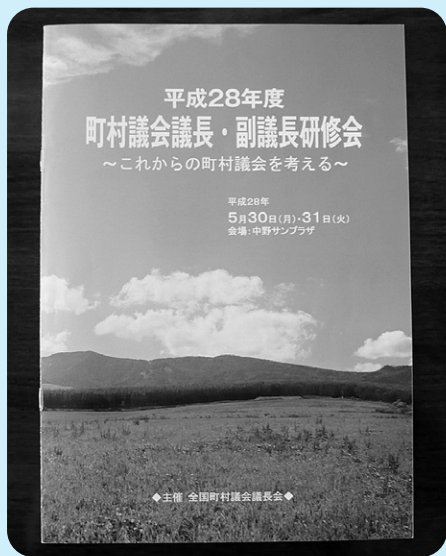
**A** 総合政策課を中心にプロジェクトチームを設置する。

**Q** 国から採択はされたのか。

**A** 申請を行っている段階である。採択はまだされていない。



# 議会の活動を報告します!



中野サンプラザにて開催

地域での自主性及び自立性の高まりが求められている現在、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任は格段に重くなっている。  
そのような中、住民参加を促進し、首長と切磋琢磨し、議会の存在意義である議員同士の討議と議決を重視する必要性を感じる研修でした。

## これからの町村議会を考える

### 全国町村議会

議長・副議長研修会

5月30、31日

- 東九州道と北九州空港の有効的利活用について
- 東九州道の完成で
- ① 北九州へ大分間の移動時間が、今までより30分短縮。
  - ② 輸送時間を大幅に短縮し、消費者に新鮮な商品を提供。
  - ③ 元気な地域産業をつくり、新しい産業を生み出す力が出た。
  - ④ 新たな観光ルートの可能性が大きく広がる。
  - ⑤ 安全で安心できる生活を支える。
- の5つのポイントについて話されました。
- 空港活用で地域の活性化については、大きく4つをあげました。
- ① 開港10年でやっとチャンスが巡ってきた北九州空港。
  - ② 福岡空港の混雑が示すように広域経済への影響。
  - ③ ターゲットとするLCC航空便。
  - ④ 航空機産業を狙う。

### 築上郡・京都郡町議会

議員研修会

6月25日

このような講演内容で基調講演を終え、次に各町の議員によるパネルディスカッションを行い今回の研修会を閉会しました。研修会を終え感じるのは物事に、視野を広く持ちインフラ整備と同時に、変わりゆく京築地域の構築に敏感な議員活動に取り組む姿勢が大事だと強く認識した。



西日本工業大学にて開催

## お詫びと訂正

議会だより第44号の掲載内容に誤りがありました。

16ページ下段、中尾文俊議員の一般質問「勝山地区防災無線デジタル化の進捗状況は」については、

正しくは小田勝彦議員の質問でした。お詫びして訂正いたします。



文教厚生常任委員会  
 豊津中学校、豊津・祓郷小学校を訪問  
 6月22日

みやこ町における児童生徒の学習状況、生活状況を見聞し、また各学校の取り組み、課題を把握し、これからの教育行政に生かすことを目的に学校訪問を行いました。

今年度は、豊津中学校、豊津小学校、祓郷小学校の3校を訪問しました。

初めに豊津中学校を訪問しました。校長先生から学校経営方針の説明を受け、その後1年生から3年生の授業の様子を参観しました。どの学年も落ち着いていた雰囲気の中で学習がなされていました。質疑応答の中で委員からも以前に比べて学校全体が落ち着いてきたこと、登下校中の挨拶がよくなってきたことなどの意見が出されていました。行事ごとに保護者アンケートを実施し、課題の改善を図るなど、学校が地域、保護者と連携して取り組んでできていることがよくわかりました。



次に、豊津小学校を訪問しました。同じく校長先生から学校経営方針の説明を受け、その後各学年の授業の様子を参観しました。低学年では活気のある授業、高学年では落ち着いた授業がなされていました。質疑応答では、委員から一年目の教員が多いことの対応、学校からは、新任教員が2名配置

され、職員の若返りが進んでいる実態、町からの非常勤講師等の配置もあり、教科によっては複数で指導に当たるなど手厚い指導が行われているなどの報告がありました。



最後に祓郷小学校を訪問しました。同じく校長先生から学校経営方針の説明を受け、その後各学年の授業参観を行いました。学習の態度、発表の仕方等よく指導されており、集中して学習する姿が見られました。また指導の手段として、ICT機材を利用した授業も

目を引きました。どの学校も校長先生を中心に、課題解決のために尽力している様子がかがえました。また着実に児童・生徒が育っていることが確認できました。

今、みやこ町では、学校再編整備が課題となっていますが、各校の教育活動の実態、校舎の老朽化への対応等、大変参考になる視察でした。関係学校には、資料の準備、授業参観等ご配慮をいただきありがとうございます。





# 活動報告

4月から6月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
4月1日(金)	築城基地観桜会、町体育協会総会
4月3日(日)	東九州自動車道京築地域開通記念プレイベント
4月7日(木)	広報特別委員会
4月8日(金)	町立中学校入学式
4月9日(土)	法政大学初代学長松室致先生顕彰碑除幕式
4月10日(日)	第10回みやこ町さわやかマラソン大会・ 第58回京都郡ロードレース大会、馬ヶ岳花まつり
4月11日(月)	町立小学校入学式
4月14日(木)	広報特別委員会
4月15日(金)	行橋京都地区戦没者合同慰霊祭、京都郡体育協会総会
4月16日(土)	第5回たけのこ祭り
4月19日(火)	みやこ町イベント運営委員会、広報特別委員会
4月20日(水)	熊本地震支援出発式、京築北九州東部振興会議理事会
4月23日(土)	犀川福寿会総会
4月29日(金)	みやこ勝山えびね展示会、吉田学軒顕彰碑献花及び定期総会
5月1日(日)	「郡長政公を偲ぶ会」146回忌墓前法要、 みやこ町国道201号バイパス建設促進期成会総会並びに 町民総決起大会
5月12日(木)	みやこ町民生委員児童委員協議会総会、 京都郡町議会議長・議会事務局長会
5月13日(金)	みやこ町社会福祉協議会理事会
5月16日(月)	みやこ町女性学級合同開校式
5月18日(水)	築城基地協賛会役員会、 在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村 連絡協議会総会
5月20日(金)	みやこ町シルバー人材センター定時総会、 みやこ町商工会第8回通常総代会
5月22日(日)	町立中学校体育大会
5月24日(火)	豊前広域環境施設組合臨時会
5月27日(金)	筑豊横断道路建設促進期成会総会
5月28日(土)	町立小学校春季大運動会、みやこ町文化協会総会
6月1日(水)	みやこ町社会福祉協議会理事会
6月2日(木)	ハワイ島セントジョセフスクール・ ホームステイ研修生ウエルカムパーティー
6月3日(金)	京築北九州東部振興会議総会
6月4日(土)	第11回花しょうぶまつり
6月11日(土)	上矢山地区ほたる観賞の夕べ
6月17日(金)	みやこ町認定農業者の会総会
6月18日(土)	町立中学校校内弁論大会
6月20日(月)	基地対策特別委員会
6月21日(火)	広報特別委員会
6月28日(火)	みやこ町スポーツフェスタ実行委員会
6月29日(水)	第33回京都森林組合通常総代会
6月30日(木)	犀川平成筑豊鉄道を育てる会定期総会、 暴力追放！地域決起会議（北九州地区）



馬ヶ岳花まつり



たけのこ祭り



熊本地震支援出発式



花しょうぶまつり

※ 6月定例議会等の本誌に掲載しているものは除いています。

# Q 地域防災組織の育成は

## A 地域リーダーを育成する



浦山 公明  
議員

熊本地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

### 予期せぬ自然災害を教訓に

Q 今までに経験のない甚大な地震を教訓に「自分の身は自分で守る」を基本に取り組む必要性を伺う。

A 熊本地震などで得た想定外の教訓を生かし防災対策を行って行かなければならない。

町では2年かけて地域防災計画を策定予定である。いつ起こるかわからない自然災害に対する不断の準備の大切さを考えた地域防災計画にした。

Q 我が町は我が町で守る防災プランをたて最小限度に災害を抑える対応策を講じるべきだ。

A 平成23年に地域防災計画を作成と同時に職員初動マニュアルを作成している。

Q 北九州にも断層が走っているとのこと。淡路、東北、熊本地震を教訓に、毎回マニュアルを見直し作成する考えは。

A 水防計画は毎年見直ししている。地震については見直しをしていない。今後、考慮し見直していく。

Q 町民の現役者、退職者の職歴を活用し初期救援に任意的な組織の考えは。

A 経験を生かし登録制のようなりーダー的役割をもった方々の掘り起しを検討している。

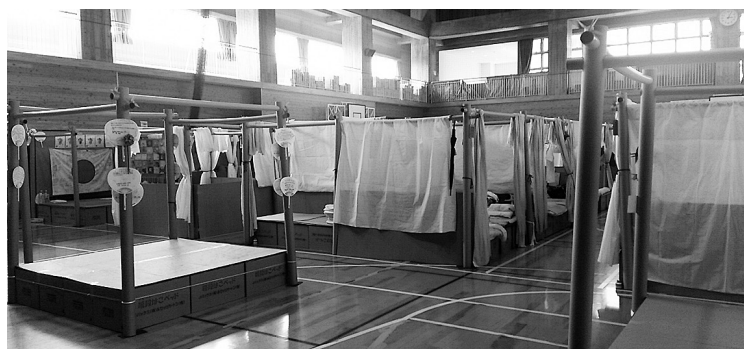
Q 小中学校の防災訓練。対応はどうされているか。

A (教育長) 東日本震災後は、各学校で火災、地震の訓練を行っている学校が増えて

いる。

Q 災害を教訓に自分の身は自分で、我が町は我が町で守るということ念頭に取り組みべきだ。

A これまでの経験を生かし、役場の中で協議し備えあれば憂いなしの方向で進んでいきたいと考えている。



熊本地震 避難所

Q 環境行政・ごみ収集 区に属していないごみ収集の指導、対応は。

A 可燃ごみは5、6人の方が集積場所を決めれば収集している。

Q 缶、瓶の不燃物の対応は。

A 資源ごみ収集は8年目を迎え21種類に細分化している。区に属していない方は、本庁、支所に資源ごみ置き場を設置しており持参して頂くようお願いしている。

### 福祉行政、国保の軽減

Q 町は、県内でも医療費の出費が大きい。高齢化が要因と思うが対応策はないか。

A 県内60町村で12位の医療費が高い状況。抑制策に取り組んでいく。

Q 町の国保会計への年間補てんは。

A 国保会計に対する赤字繰り入れは、年平均5300万円である。

Q ジェネリック医薬品とは。

A 医薬品の効能は変わらず、本人負担も少なく、国保事業の医療費負担も減になる。





馬 勝 員  
田 中 議

# 伊良原学園の活用について

## A 屋内運動場を交流施設として活用する

放課後児童クラブの充実に  
ついて

研修を修了した者の人数は把握していません。

Q 2015年4月から放課後児童クラブについての運営

Q 児童保育に放課後児童支援員を配置することが義務付けられているが、支援員の単位と児童数はどの様になっているのか。

基準が新たに設けられ県知事が行う認定資格研修を修了した者でなければならぬという事になってはいるが、みやこ町には認定資格者が何名程度いるのか。

A 大変申し訳ありませんが、補助員に変わることが出来る。児童の数は概ね40人以下とする。

A 支援員の単位ごとに二人以上、ただしその一人を除き補助員に変わることが出来る。児童の数は概ね40人以下とする。

## 放課後児童クラブの開設を

Q 伊良原学園の児童生徒は塾に行きたくても、運動を習いたくても近所に無く大変不便をきたしている。

授業終了後、子供の遊びや生活の場としてコミュニティセンターに集まり、地域の方々が交代で面倒を見ている。児童・生徒の健全な育成を図る場として伊良原学園内の空き教室等を利用して、放課後児童クラブの開設を求める。

A みやこ町では、社会福祉法人が開設している放課後児童クラブに入所を行っている。伊良原学園に通う児童の入所希望があった場合、犀川地区及び豊津地区の放課後児童クラブに入所の余裕があることから、この児童クラブの活用を優先したいと考えている。

Q 伊良原学園は地域のコミュニティ施設等併設した複合施設として建設されたが、昔のように自由に校内に入れない、グラウンドや体育館がない、

使えない、確かに学校を開放することについてはセキュリティ安全上の問題もあることも理解できるが、地域住民の皆さんが参加することによって生涯学習の拠点となるほか、住民同士のつながりが強くなり学校と地域への愛着が深まるものと考えている。

A (教育長) 今後、みやこ伊良原学園を地域の方に活用していただくため、「みやこ町立小学校及び中学校の施設に関する規則」を一部改正して活用することが出来るようにする。

Q 旧、小中学校にあった二宮尊徳像、教育文化功労賞受賞記念碑その他、寄贈していたいた物をなぜ、新校舎に移設できなかったのか。

A (教育長) 地元の駐在員や学校評議員、PTA代表、校長等で構成する地域会議の中で検討を行った結果、学校にこだわらずに移設場所を探すことで決定し、地元の方々

のご厚意により古賀団地に移設した。



みやこ伊良原学園グラウンド

小笠原神社を文化財マップのページに記載しては

Q 小笠原神社は歴史民俗博物館の真横にあり町内でも格式の高い神社でもあり、この度、境内に法政大学初代学長、検事総長、司法大臣を務めた「松室致」先生の顕彰碑が建立された。この機会に文化財マップに記載し観光スポットにしては。

A (教育長) 基本的には、国、県、町の指定を受けたものである。専門家や有識者等の意見を聞きながら検討する。

Q

# サン・グレートみやこ前 広場の舗装はなぜ

A

## 多目的に活用するため



柿野正喜  
議員

**Q** みやこ町の文化施設の中心といえるサン・グレートみやこ前広場を、駐車場不足と思えないが駐車場にするとのことだが、その実施計画は。

**A** 広場は現在、夏祭りと成人式の記念撮影時に利用しているが、雨などによる影響が少なくなく多目的に利用できるように、舗装をして8月の夏祭りまでに完成させる。また、緊急時の駐車場としても活用したい。

**Q** 多目的に使うというが計画はあるのか。



サン・グレートみやこ前広場

**A** 今は、具体的計画はないが今後イベント等考えていく。  
**Q** 計画のない予算（設計委託料400万円、工事費2000万円）の執行は不適切と思うが。

**A** これを機にイベント等に活用していく。

### 熊本震災支援

**Q** 「情けは人の為ならず」と言うが、熊本震災に町は今日までにどんな支援をしたのか。また、今後どのような支援を予定しているのか。

**A** 4月20日に水等、日用品を緊急支援物資輸送車で熊本市に送り、5月26日には搬送のとりまとめをしている福岡県に搬送した。また、人的支援として5月に2名の職員を菊陽町に3日間派遣した。更に6月に職員1名を3日間益城町に派遣した。今後も要請があれば支援していきたいと考えている。

**Q** 要請があればと消極的に思えるが人的派遣は福岡県町村会の割り当てによるものか。

**A** 町村会の割り当てに基づいて派遣した。

**Q** 身近では長引く仮設住宅へ餅つきや獅子鍋を振る舞う等の話もでていますが、ソフト面支援として例えば文化協会に依頼して、芸能を堪能してもらおう等があってもよいのでは。

**A** 現地の状況が落ち着いてからやればと思うている。



被災地域に積極的な支援を

### 海外ホームステイ事業

**Q** ハワイからの学生10人のホームステイ先となるホストファミリーは、同世代のいる家庭の方が有意義と考えるが、なぜ公募しなかったのか。

**A** 募集に時間を要すこととスケジュールの確定が遅れ公募できなかった。

**Q** 豊前市では同時期に行われているが、すべて同世代のいる家庭となっているが。

**A** 海外ホームステイ事業に参加した家庭に声をかけたが、4世帯のみの受け入れ希望であった。





夫 秀 員  
飯 本 議

## Q 地方創生事業に望む

## A 年次ごとに実現していく

### 地方創生の取組は

**Q** 本事業は多年度にまたがり、多種多様な事業を行うものであるが、現在までの取組状況を尋ねる。

**A** 本町では、人口減少の克服と町の創生を目的とし、本年度から5ヶ年計画の「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、27年度は、計画遂行のため「総合戦略策定事

業」・町内移住を喚起する動

画PR等の「移住促進事業」・「観光グルメマップ」・農業支援として「農業創生事業」「販路拡大事業」・地元商店

活性を図る「プレミアム商品券」・子育て世代には「子育て応援券事業」に取組む等、計7事業を展開した。

地方創生加速化推進事業とは

**Q** 個々に点在しているイベント・史跡・観光地のみを対象にするのではなく、地域全体を観光資源とするには、幅広く掘り起しの必要がある。例えば、大正4年に豊津地区

の光富山に築造された大正池は、郷土の偉人として豊津支所玄関横に銅像、また、国分区には石碑が建立されている「佐々角太郎」により、地形を活かしながら工法的にも特異なサイホン式を取り入れ、総延長5kmの疏水路及び、農業用ため池を完成させた。また、隣接するゴルフ場もあり、周辺整備を行えば、緑豊かな史跡公園になると考えるのがい

**A** 今年度の事業計画は、観光地域づくり実現のため「みやこ町観光まちづくり協会」が主となって行うPR事業であり本年度事業には採択されないが、総合的な地方創生事業での実施は可能である。



大 正 池



佐々角太郎翁顕彰碑

事業の地理的範囲は

**Q** 地方創生は、広範囲で多岐にわたる事業であり、市町村や区域にとられない展開が必要と考えるがいかがか。

**A** 京築・行橋・豊前地域に於いては観光業で創生し、また、北九州市との連携により、京築地域を含む17市町村に於いて「しごと・ひと・まち」の創生を図るので、防災組織と同様に、行政区にとられない展開が必要となる。

### 農業について

**Q** 農業生産に於いても、企業の農業者の参入が増えており、農地の有効利用等では、大変良いことではあるが、地域の営農組織或いは水利組合等との摩擦や、離農し放置された施設も見受けられる。現状を踏まえ、地域でトラブルに発展しない為にも、町や農業団体の気配りも必要かと考えるがいかがか。

**A** JA等と連携を取り、現状把握を行い対応する。

Q

## 地域資源を活かし 交流人口の拡大を

A

### 地域及びみやこ観光まちづくり協会と 協議しながら実施する



吉 竹 次 男  
議 員

**Q** 定住人口の確保のため、広域からの集客や地域住民の活力創生に向けて地域資源を活かし、交流を推進することは重要と考える。現在伊良原地域は、県内外から大変注目されている。交流エリアの整備状況と外部見学者の対応をどう行っているか。

**A** 交流エリアの整備状況は順調に進んでいる。線から面となるようホームページ等で情報発信し、地域及びみやこ観光まちづくり協会と協議し進めていく。

**Q** 勝山黒田地域には国指定、県指定の貴重な古墳がある。案内看板や駐車場、トイレ等が未整備である。諫山地域岩

熊の尾倉山には、南北朝時代からの城跡、江戸時代には、藤本平山が開いた蔵<sup>かんろうどうあと</sup>跡が存在する。歴史資源を掘り起こし、交流人口の拡大を図つたらどうか。

**A** 国・県指定の古墳や障子ヶ岳城跡などの史跡遺産など、観光マップによるPRを進め、史跡めぐりなどを取り入れた観光コース等を、みやこ観光まちづくり協会とも協議し進めていく。

#### 地方創生

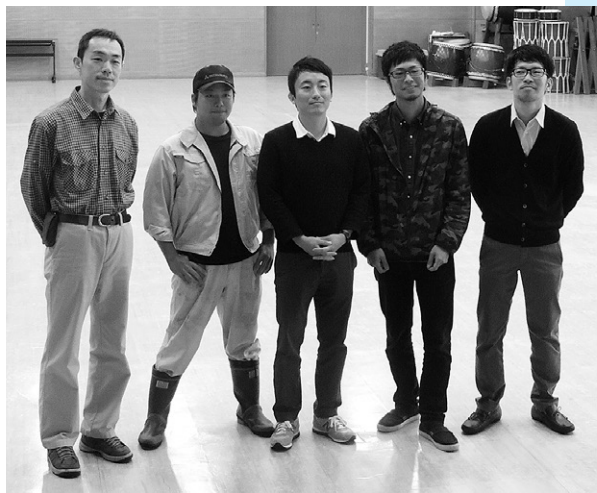
**Q** 地域創生は、みやこ町に潜在的にある自然資源、産業資源、歴史資源等を有効活用することにかかっている。諫山地区にある竹林を有効活用し、竹材活用及び「河内たけのこ」のブランド品化に向けて、J A 京築福岡、筍部会、地元生産者を取り組んできた。町執行部としてどのような支援を考えているのか。

**A** 「河内たけのこ」の知名度向上のため、地元が開催している「たけのこ祭り」の実

施に関し、交流人口増加の観点からホームページやフェイスブックへ掲載するなど協力をしている。体験バスツアー等の提案を県等に対し行い、みやこ町の「たけのこ」を売り込んでいく。6次産業化の意向がある農家に対しては、補助事業の活用等も随時対応していく。

**Q** みやこ町には現在5名の地域おこし協力隊員が活動している。現在の活動状況の把握、課題・悩み等はないのか。今後どう支援していこうと考えているのか。

**A** 地域の連携につながる情報提供や具体的な相談事等への支援を実施。地域活性化へ向けての課題等、それぞれの活動の自立と地域活性化へ支援する。



地域おこし協力隊

#### 国際交流事業の推進

**Q** 本年度の国際交流事業の計画及びみやこ町国際交流協会への支援はどうなっているのか。

**A** 昨年度と同時期の8月20日から26日、ハワイ州ハワイ島のセントジョセフスクールとの交流を予定。国際交流協会のイベント実施の際は、講師派遣等支援を予定。





中山 茂樹  
議員

## Q 中学校の建設 1校にしては

### A 早急に中学校の再編を 検討する

中学校の建設について

**Q** 中学校建設の基礎となるのは、生徒の数である。平成23年度から27年度まで5年間の子供の出生数は552名、年平均110.4名である。建設資金や学校の維持管理費を考慮すると中学校の建設は1校にしてはどうか。

**A** (教育長) 中学校の再編整備については、小中一貫校

の設置や統合校の設置など、

具体的な再編整備について継続して検討する。みやこ町立中学校の生徒数は、平成23年度は557名であったが、今年度は488名と大幅に減少している。平成39年度には、県立中学校への進学者を考慮すると、町立中学校の生徒数は300人程度になると予想される。早急に中学校の再編

を検討しなければならない。  
**教育行政**

**Q** 本年度より犀川小学校の建設を進めるようだが、体育館、プール等の工事内容や資金計画を尋ねる。

**A** (教育長) 犀川地区の小

学校建設計画については、本年度基本設計、29年度実施設計、平成30年、31年度建設工事を予定している。また資金計画については、校舎の建て替えに要する経費を10億円程度見込み、財源は防衛施設周辺防音工事補助金を計画している。プールはそのまま利用するのが適当と考える。

**みやこ伊良原学園の今後**

**Q** みやこ伊良原学園は、良い環境で運動会ができ、子供も、保護者も満足したことと思うが、今後の児童、生徒数増加のため、アンケート調査し、ますます活気のある伊良原学園にしてはどうか。

**A** (教育長) 伊良原学園の児童、生徒数は現在、小学生12名、中学生17名の合計29名

である。今後もより多くの児童、生徒に来てもらえるよう、教育活動の充実とPR活動に努める。



みやこ伊良原学園

**みやこ町の防災対策は十分であるか**

**Q** みやこ町は、今まで大きな自然災害はなかったと思うが、今後は予想がつかない状況である。住民の生命、財産を守るため、避難場所の周知、危険個所の点検整備は十分であるか、尋ねる。

**A** 本町においては、平成25年に土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく土砂災害危険個所の指定が完了した。土砂災害警戒区域として459カ所、そのうち土砂災害特別警戒区域として422カ所が指定された。町では、防災マップを作成し全戸に配布している。マップの活用について改めて周知したい。危険個所の点検整備については、関係職員で現地確認するとともに、今までの経験を生かした対策に万全を期したい。



防災マップ



# 避難者カードの策定を



## 検討していく



橋本 真助  
議員

**A** 前向きに提言を参考にする。

**Q** 避難者カードの策定をすべきでは。避難者カードの基本的目的は、災害時の収容者の把握することで支援物資の供給が円滑になる。情報避難者カードに設けることによりきめ細やかな被災者支援が可能と考える。だれがいどこでどのような状態か確認する上で必要と考えるかどうか。

**Q** 防災及び災害対策 対策を計画する上での危機管理体制はできているのか。  
**A** 防災会議を設置し状況に適した危機管理体制を構築し、防災計画の見直しを進めている。

**A** 8月以降、協議していく。

**Q** 断水時の学校で簡易給食の際に足りないかと判断し、持参した児童生徒のおにぎり等を食べることを許可した学校と、しなかった学校があり統一性がない。今後どうするか。  
**A** 今後はカロリー等を考え自宅からの持参を検討する。

**Q** 豪雨による冠水場所の把握。そして対応はしているのか。  
**A** 冠水場所においては避難誘導を促していききたい。今後改修工事をしていく。

**Q** 豊津の八景山入り口の交差点が豪雨の際に冠水する。どのような対応をするのか。  
**A** 交通規制をしている。現在対応があまりできていない。

**Q** 対応としては二点あると考える。池の水位を下げる。池の水路を広げる。どちらにしても受益者や水利組合との協議をしていくこと。

**A** 今回、月曜日が含まれていない。今後は指摘のように改善していく。

**Q** 特定健診とがん検診について  
**Q** 検診日において月曜日が含まれていない。すべての曜日、受診日にすべきではないのか。

**A** 今回、月曜日が含まれていない。今後は指摘のように改善していく。

避難者カード

特定健診・がん検診 案内状

**Q** 一人でも多くのかたに受診していただけるようにしていくこと。  
**A** 理容や美容関係の職業の方への配慮も考え今後工夫していく。特定検診は病院での個別検診ができる。また、がん検診は苅田町の御所病院と豊前市の豊築メディカルセンターで受診ができる。





熊谷みえ子  
議員

# 安全なまちづくりのための災害対策を

## A 関係団体と協議して取り組む

**Q** 被災者に寄り添い、迅速な救援活動が強く求められている。

災害の時のトップの町長の姿勢が問われている。防災拠点が被害を受けた場合の課題など参考にすべき事などあると思うが町長に問う。

**A** 避難訓練の取り組みを、定期的に開催してはどうか。

**Q** 避難訓練を行うことは大

きな意義があると考えられる。消防等の関係団体と協議して取り組む。

**Q** 避難所の指定場所を増やすこと。高齢者・障がい者など避難場所、方法などの周知を。

**A** 福祉避難所を含め、避難所の指定については、今後は民間の施設の指定も視野に入れ検討する。

**Q** 住宅耐震診断をすすめること等危険家屋への対策はどうするか。

住宅リフォーム制度等リフォームに合わせた耐震改修工事を促進してはどうか。

**A** 耐震診断アドバイザー派遣制度、リフォーム応援アドバイザー派遣制度、耐震改修補助制度の周知をしていく。

**Q** 小中学校の統廃合、結局は財政的な経費節減が目的

小学校は特に歩いて通える学区の規模が望ましい。

**A** 小規模校だから「切磋琢磨」が足りない等問題だとして、一方的な統廃合であってはならない。

統廃合は教育だけでなく、地域における影響が大きい。

学校がなくなれば過疎化がさらに進む心配があり、まちづくりの観点からも検討すべき。学校は地域の防災拠点でもあることから、防災機能を低下させることになる。

この観点から考えていただきたい。

**A** (教育長) 保護者には4月16日から犀川地区の4小学校で説明した。

保護者から、スクールバスの運行を求める意見、利用できるなら早く犀川小学校に行かせたい。小中一貫教育に関する意見、学習集団が大きくなることの心配の意見。さら

には震災を心配し、校舎の早期建設を希望する意見等出された。

新しい学校づくりアンケートを実施し、保護者の皆さんの意見をきかせていただく。

住民の皆さんからは町政懇談会に代わりタウンミーティングでもご意見をお聞きしたい。

**Q** スクールバスがあればと

のご意見ですが、子どもたちが地域の中で育ち、地域の方に見守られながら育っていく環境が一番必要。また、検討班の対象者はどう考えているか。

**A** 犀川地区は教育長を班長に学校教育課、総合政策課、財政課、住民課の課長補佐などで構成。

**Q** あいのリタクシーの範囲拡大を求める

勝山地域での実施状況から見て改善すべき点など把握し、気軽に外出できるよう、豊津・犀川での実施の検討状況はどうか。

**A** 今年度犀川地域に区域拡大の予定。



あいのリタクシー リーフレット

Q

## 害獣防護柵の設置方法に配慮を

A

資材を分散して納入できるようにする



中尾 文 俊  
議 員

### 有害鳥獣防護施設について

有害鳥獣（イノシシ、しか）防護施設は、緊急の課題として、産業建設常任委員会で、農水省や国会議員への陳情・要請行動を実施した。現在、防護柵を要望している22区・延長約120km、約1億6千万円の満額回答の内示があった。被害が極めて大きい山間地域では高齢化がすすんでいる。山中への持ち込み等は大変である。山間地域での設置を念頭に、山中への分散配置や助力体制も含めて考慮すべきだ。例えば、3〜4地区が合同で実施する等が考えられるがいかがか。

また、防護柵の設置要望を

していない行政区では、現状の被害が極めて少なくても、防護柵設置により、被害が集中することが考えられる。対応はいかがか。

今年度、鳥獣被害防止の防護柵設置事業をみやこ町防衛対策協議会で資材購入し資材を提供。地元で設置するものだ。山間地域問題は皆さんと協力して、この予算を無駄なく使って欲しい。

6月24日に説明会を実施する。作業員名簿などの提供などで、町として助言や地元がスムーズに施工できる体制ができればと考える。

また、地域間での協力も含め検討したい。山間地は高低差がある。できるだけ、資材を分散して配布できるように落札業者へ仕様書に盛り込むなど、地元とは十分協議してすすめる。



防 護 柵

### 支所機能の活用について

ゆいの郷改修で行政機能を本庁に集約して以降、支所では空き部屋が目立つ。空き部屋や議場の活用を考えるべきと考えるがいかがか。

先日、犀川の議場を見て、十分に活用できる状態だ。とくに、参議院選挙から18歳から投票する権利がスタートすることを踏まえ、育徳館や町内中学生などを対象に議場を活用できればと考えるがいかがか。

また、犀川支所では右奥に

は板を張っていて、違和感がある。

昨年、実施したワークショップでは、庁舎問題で様々な意見があったが、どう反映するか。

豊津・犀川支所を含めた有効活用は、現在、みやこ町公共施設の在り方の基本計画を策定中である。各施設の状態を客観的に診断し、修繕や維持経費を比較検討して、費用対効果を考慮し活用方法を検討する。

ワークショップでは、住民が集う場としての活用や民間企業への貸し出しなど、様々なアイデアが出された一方で、維持費を考慮し廃止すべき等の意見があった。立地条件の良い支所を廃止し、用地を売却や新たな施設として活用することも検討する必要が、あると考える。

また、空き部屋の対応を検討しているが、なかなか良いアイデアが無い。今後とも検討したい。





金房眞悟  
議員

# Q 国道201号線 バイパスの経過は A 現在、強く要望している

**Q** 国道201号線の改良は、整備方針については、まだ、白紙の状態であるが、路線決定と着工の要望を行って行く。

**A** 旧町時代から、更には合併後も国への陳情をするも当町区間のみ建設当時のままである。特に主要県道、椎田勝山線の起点、新町交差点のラッシュ

時の渋滞は住民生活、通学、通勤、農作業等に支障をきたしている。

**A** みやこ町の本庁が勝山に位置している点もあり、早期整備を強く要望している。



国道201号バイパス建設促進期成会

## 県道椎田勝山線の改良（信号機）

**Q** 本路線は改良から40年、朝夕の交通量は急速に増え、地区住民の生活に支障をきたしている。

**A** 上久保バス停、交差点の信号機はボタン式のため効率が悪く危険で重大事故の恐れがある。感応式信号に。

**A** 福岡県公安委員会に要望したところ、道路の幅員や形



大久保交差点 信号機

状が設置基準を満たしておらず変更は無理とのこと。今後、設置基準を満たす方策、対応について警察と協議する。

## 県道大久保犀川線改良

**Q** みやこトンネル開通で通行は容易になるも横断が不規則で事故多発し、大型車通行も多く安全施策等整備を。

**A** 県に整備要望する。

**Q** 町財政について

**A** みやこ伊良原学園、みやこ町歴史民俗博物館の1㎡当たりの単価は。

**A**（教育長）みやこ伊良原学園に係る建設工事費については予算額11億円に対して実績額約10億4千万円。1㎡当たり約42万円。みやこ町歴史民俗博物館の改修工事費は約3億5千万円となっている。

**Q** 町政、機構改革の必要性は。

**A** 合併10年、多様化する住民ニーズへの迅速かつ的確に対応できる組織体制の構築には現行の行政組織を見直す必要がある。

**Q** 経常経費削減の効果は。

**A** 平成18年度から平成26年度までの普通会計における経常経費全体の額としては、約77億円であったものが70億円となっている。基礎的財政収支の黒字を維持するために、今後は公共施設の統廃合を含めた抜本的対策を推進するとともに、費用対効果を念頭に置きながら、これまで以上に経常経費全体の削減に努める。

# Q 青パトの有効活用を

## A 運転管理者を育成していく



中尾 昌 廣  
議 員

日産自動車から、貸与された青パトについて

**Q** 日産自動車から地域の見守りとして3年間貸与された青パトが、まったく用を達していない。登下校による子供安全見守り、また、空き家や高齢者見守り、災害時の見守りなどする事は大事。

**A** 青パト防犯パトロール講習を受講した職員が少なく、青色回転灯を回しての活動ができる職員が限られており、現在、職員39名の運転管理者を育成した。  
今後、青パト活動を進めていきたい。



青パト

2012年の九州豪雨から5年。対策は。

**Q** 災害は忘れたところにやって来る。今年も地球温暖化により各国で異常気象が起こり、多くの災害が起こり我が国も経験したことのない大竜巻や大洪水、地震など身近に起こりつつある。我が町は山間部が多く、対策と体制をすることが肝要。高齢者や障害者等の避難場所指定、方法など前もって訓練が必要と思う。そのため防災無線をフル活用し何回となくお知らせする事が安全安心な町づくりと思うがいかがか。

また、河川の土砂が高過ぎ

る所が多い。大雨時、氾濫する可能性は大であり特に犀川上本庄地区、本庄橋の下など、道より草が上がり、毎年、氾濫しているところであり、再度、県要望と防災危険箇所の再確認をお願いしたい。

**A** みやこ町全体における指定避難所や主要施設、河川氾濫危険水位の目安。また、災害対策の心構え等、掲載し平時から周知を図ってまいりたい。

防災行政無線については、みやこ町のデジタル化が完了し、本庁からの一括放送により防災行政無線の活用が出来る災害が発生した際に、より迅速な対応を行う。

河川の土砂が高すぎる所は京築県土整備事務所が管理者であるため、土砂等の浚渫を実施して頂くよう強く要望しているところ。

コミュニティセンター芸能館について

**Q** 昨今まで開かずの間が明るい日差しが差し込み、立派な茶室になりました。町民の方々が多目的に使える場所であってほしいと思うが、茶室の襖や障子がくすんでいる整備と点検を。

**A** 内容の点検をした上で業者の方に依頼をあげており、皆様が快適に使えるよう配慮していく。



コミュニティセンターいこの里（文化芸能館）



# 地域の将来を考える子どもたち!

## ～ 黒田小学校児童が議会を傍聴 ～

6月17日の議会を黒田小学校6年生の児童たち25名が傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、少しずつですが、ご紹介いたします。

議会傍聴をして大人たちは、すごいなと思いました。それは、手を一人一人あげて話をする前に、きちんと礼をしたり、時間に間に合うように話したり、その時間で、たくさんの言葉を話しているからです。

議会傍聴をして、とてもいい経験になったと思います。



議会傍聴をする部屋に入ると想像より広くて、本格的なので、とてもびっくりしました。どの議員も真面目な顔をしていたので、自分まで緊張してきました。でも議会傍聴が始まって、だんだん時間がたっていくと、おもしろい事も言っていたので緊張もほぐれました。また、見に行きたいです。

最初のほうは難しそうだなと思いました。議員さんたちは、時々、笑ったりしていましたが始まってからは、みんな、しんけんな顔になっていました。

議員さんのように、町のためにつくす人、態度がいい人、だらしない人になりたいです。

議会傍聴をして、すごいと思いました。それは、自分の意見を進んで手を挙げて発表していたところと意見に対する質問や意見を言っていたところです。私は、すぐに意見や質問を考えるのは苦手だから本当にすごいと思いました。私も、友達の意見や質問に、すぐに答えるようになりたいと思いました。

議会傍聴を見て心に残ったのが、話し方がうまくて、ちゃんと時間通りに話し合いが終わったことです。議会傍聴が終わったら、みんな資料やノートをまとめているのを見てすごいなと思いました。ぼくも議員になって会議に出てみたいなと思いました。

議会傍聴して、1つのことに質問をしてすぐに、答えられたのが、私には、こういうことは、できないのでとてもすごいと思いました。話し合いの時に何もしていない人たちは、きちんとした姿勢だったのでその姿を私は「みならおう」と思いました。

議会傍聴を見て、とても、すごいと思いました。大人の方たちは、地域の人のために、がんばってくれているんだなと思いました。自分たちのために、がんばってくれていると思うと、すごく、ありがたいなと思いました。議会傍聴を通して、これから、私も、地域を大切にしようと思いました。

議会傍聴を見てとてもすごいなと思いました。なぜかという、初めは、むずかしくて何をいっているかわかりませんでした。でもあとからすこずつわかってきました。私はたくさんの人たちがとてもいいことを話していたのですすごいなと思いました。

傍聴に来てくれて  
ありがとう!  
また、勉強に来てね☆



# がんばっちよる

## みやこ町豊津

### 生活改善グループ

#### 三塔会



J A福岡京築、国分の農産加工所を拠点にし、みやこ町で収穫された、米大豆を使用して味噌加工をしています。

平成5年に女性6名で加工部を設立して、今は味噌やイモ万十等を作り頑張っています。

みやこ町国分には、県指定の国府跡に国分寺があります。加工所より間近に見える三重塔のように、天高くまっすぐ空にそびえる塔からグループ名を三塔会としました。

みやこ町のイベントや地域の直売所に手作り味噌を出荷しています。



また、京築地方で食育活動にも取り組み、小中学生に手作り味噌の指導を行い食の大切さを教えています。グループ員の高齢化に伴い人数も減少していますが、まだまだ地域に貢献をする為に、皆で頑張っています。



#### 連絡先

生活改善グループ 三塔会

代表 白川 和代

Tel 0930-133-13271

## 議会の傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。

9月定例会の招集日は、9月2日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。

本会議中継を本庁及び各支所ロビーに設置のテレビでも放映いたしますので、是非ご覧ください。

発行日：平成28年8月1日  
発行：みやこ町議会

〒824-0892  
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地  
TEL 0930-32-2511 (内線 301・302)  
FAX 0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会  
印刷：(有)京都印刷

## 議会広報 特別委員会

委員長 熊谷 みえ子  
副委員長 柿野 正喜  
委員 肥喜里 雄二  
委員 吉竹 次男  
委員 中山 茂樹  
委員 飯本 秀夫  
委員 大東 英壽

## 編集後記

今年の夏は「史上最も暑い夏」と言われています。

近年、異常気象による自然災害が多発し甚大な被害が各地で発生しています。

6月議会の中でも防災に関する質問等が数多く議論されました。

自然災害を体験すると人は教訓から高い危機意識を得るのですが、いつの間にか色あせてゆき、またいつか自然の前に、人は愚かさを痛感するのです。

「備えあれば憂いなし」危機管理の希薄さから繰り返されてきた過去の災害事例から学び、住民救助や復旧作業、防災計画の策定や対応訓練など早急に検討していく必要があります。特に小さな子どもや身体の不自由な方、お年寄りをかかえるご家庭、また住居形態や家族構成等からも行政側が把握しきれない多様な世帯別の声を集めながらみやこ町独自の「備え」を講じていきたいと思えます。

まだしばらく暑い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

(肥喜里雄二)